

(平成 30 年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題：我が国周辺漁業資源調査・資源評価値調査

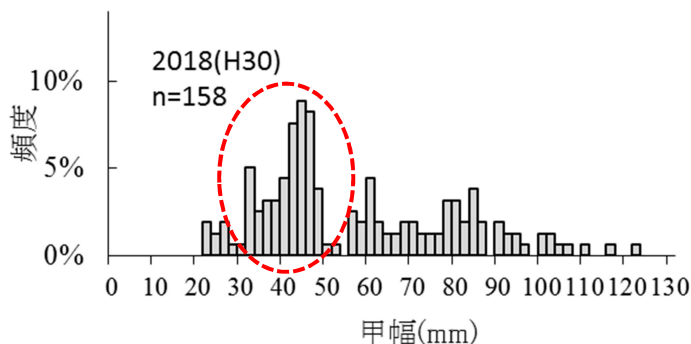
研 究

桁びき網によるズワイガニの資源調査

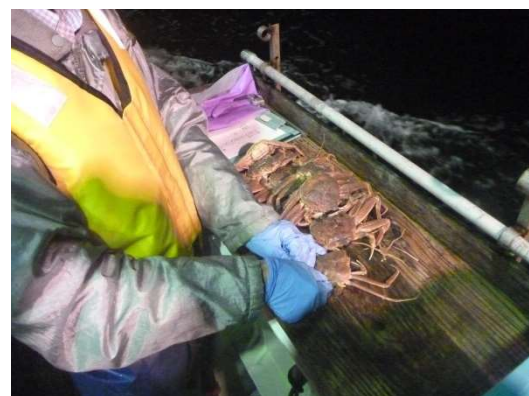
当センターでは、毎年 5 月に海洋調査船「平安丸」の桁びき網[※]操業によるズワイガニの資源調査を実施しています。5 月 10～11 日及び 15～16 日の期間中に、京都府沖合海域の水深 225～255 m において 8 回操業し、雄 158 尾、雌 311 尾のズワイガニを採集しました。調査の結果、雄では甲羅の大きさが 30～50 mm の個体の割合が高いことが分かりました。これらは、数年後には漁獲サイズである甲幅 90 mm 以上に成長します。また、採集したすべてのズワイガニは一部に移動状況を調べるための標識を装着して放流しました。

今回の調査結果は、国や他県の研究機関が収集したデータと合わせて分析を行い、資源管理に役立てていくとともに、資源を有効に活用できるよう府内の底びき網漁業者へ情報提供していきます。

※ ^た桁びき網：鉄枠に漁網を取り付けて海底付近を曳くことで生物を採集する漁具



ズワイガニ雄の甲幅組成



ズワイガニに標識を装着する様子